

名古屋大学大学院医学系研究科 博士後期課程
総合保健学専攻

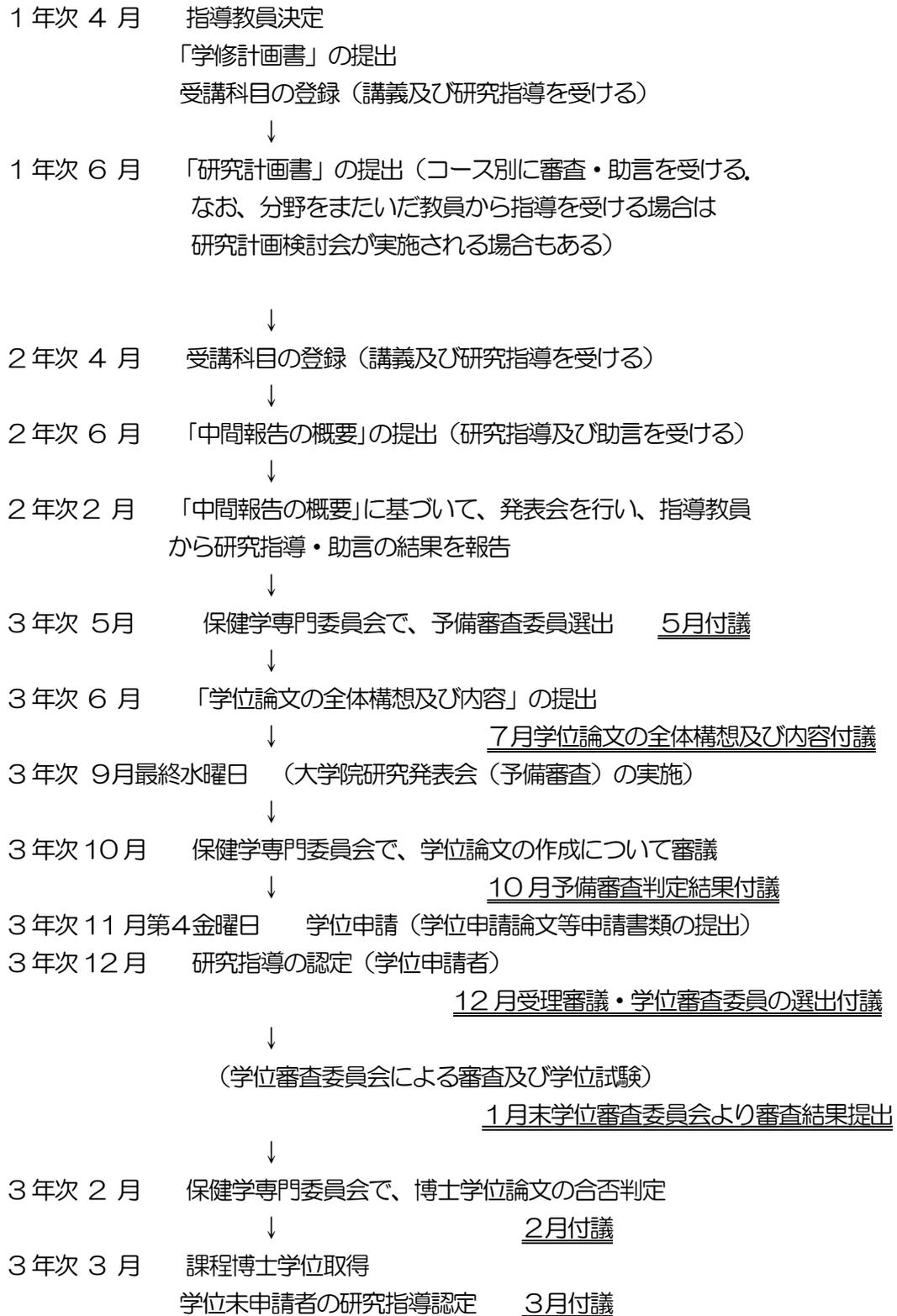
博士論文作成の手引き

大学院入試・学位授与委員会

(最終改訂：2025年4月)

1. 学位申請までの流れ

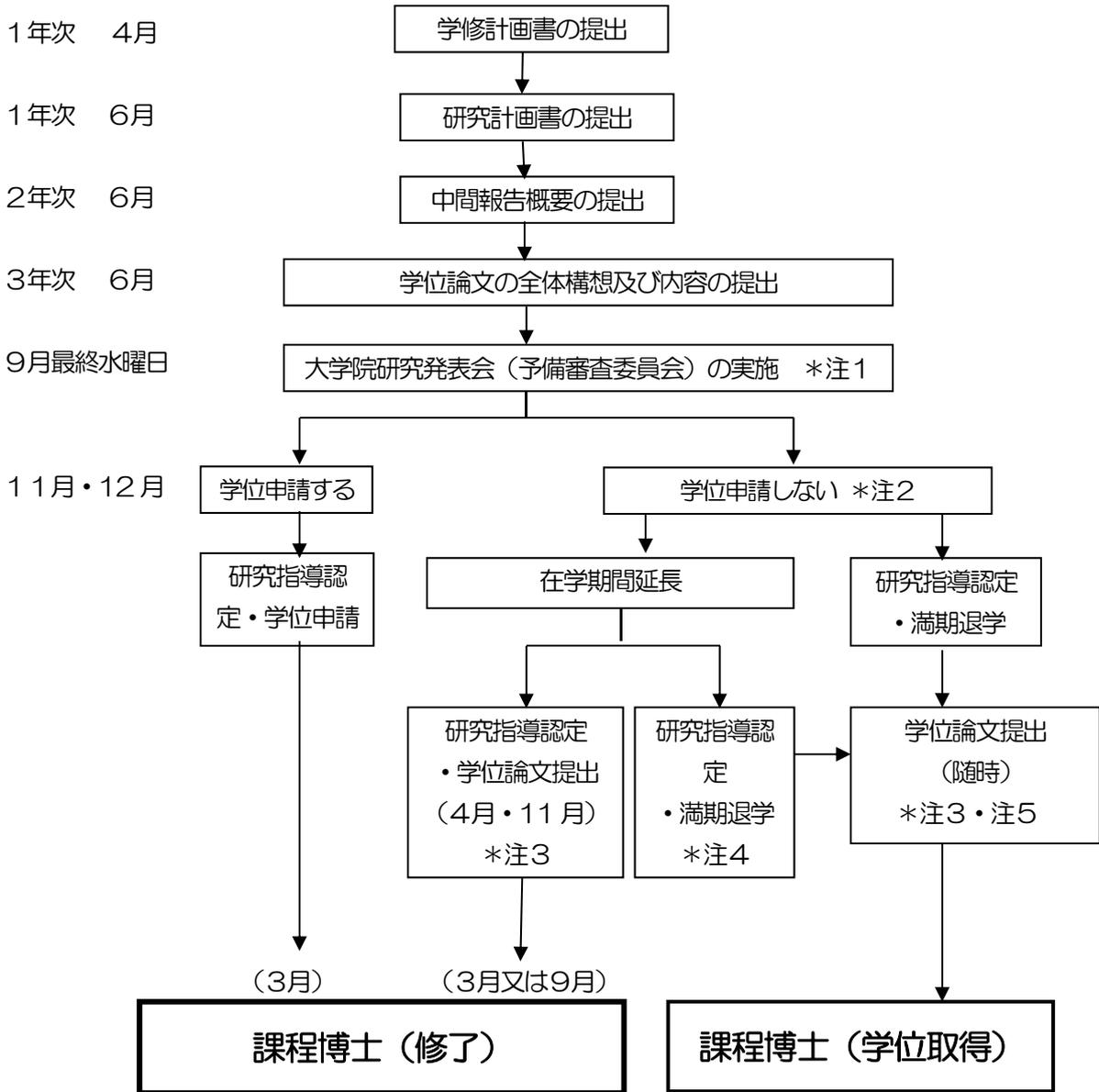
— 学年毎の研究指導体制 —



注1) なお、最終学年で学位申請をしなかった者は、3月に「研究指導の認定」及び「満期退学」の認定を行うことができる。

注2) は保健学専門委員会の付議内容を示す。

博士後期課程における修了・満期退学・在学延長の流れ図



注意

- *注1： 大学院研究発表会（予備審査）の有効期間は、大学院研究発表会（予備審査）終了後、翌月から起算して24ヶ月とする。
- *注2： 最終学年で、学位申請をしなかった者は、2月中に指導教員と話し合い、「満期退学」または「在学延長」の報告をして、3月の保健学専門委員会で承認されなければならない。
- *注3： 学位申請は、「入学後または進学後6年以内（休学期間を除く）」に保健学専門委員会に学位申請し、受理されなければならない。なお、「受理」とは保健学専門委員会の受理審議にて承認されることである。
- 例) 2023年9月に実施した予備審査の有効期限内に審査を受ける場合の学位申請提出期限は、在学生の場合は2025年4月第4金曜、満期退学者の場合は2025年8月第4金曜である（注5）。在学生の場合、2023年10月以後24ヶ月を越えて途切れずに予備審査の有効期限を更新するためには、2025年6月第4金曜までに「学位論文の全体構想及び内容」を提出し、2025年9月の大学院研究発表会（予備審査）を受けること。
- *注4： 最終学年で、学位申請をしなかった者は、2月中または8月中に指導教員と話し合い、「満期退学」または「在学延長」の報告をして、3月または9月の保健学専門委員会で承認されなければならない。
- *注5： 満期退学者の論文提出については、保健学専門委員会開催月の前月の第4金曜までに教務学生係に提出された論文のみ受理審議される。
- 例) 2023年9月に大学院研究発表会（予備審査）を実施した満期退学者が、有効期限内に学位申請する場合の最終申請期限は2025年8月第4金曜となる。2023年10月以後24ヶ月を越えて途切れずに予備審査の有効期限を更新するためには、遅くとも2025年8月第4金曜までに「学位論文の全体構想及び内容」を提出し、2025年9月までに大学院研究発表会（予備審査）を受けること。2025年8月第4金曜までに「学位論文の全体構想及び内容」の提出がなされない場合、予備審査の有効期限は一旦途切れ、随時の「学位論文の全体構想及び内容」の提出時期により大学院研究発表会（予備審査）が設定される。

2. 学位論文審査に関する手続

1) 申請資格

課程博士の学位審査を申請することができる者は、原則として博士後期課程 3 年次に在学し、必要な研究指導を受け、所定の単位を修得する見込の者とする。

[短期修了者]

優れた業績を上げた者で、前期課程又は修士課程の在学期間を含み大学院に 3 年以上在学する予定で、後期課程における必要な研究指導を受け、所定の単位を修得する見込みの者で、短期修了の資格を認定された者とする。

[満期退学者]

後期課程満期退学の認定を受け、後期課程に入学後又は進学後 6 年（休学期間を除く。）以内の者とする。

2) 申請条件

- ① 原則として本研究科が行う大学院研究発表会において、提出する論文の発表を行い（中間報告）、かつ予備審査を終了し、論文の執筆許可を得ること。
- ② 本研究科が定めた期日までに論文提出が可能であること。
- ③ 提出する学位論文は、次の各号に該当すること。
 - a. 主論文は、本研究科以外の大学院に学位論文として提出したことがないもの。
 - b. 主論文は、その主たる部分が筆頭著者として印刷公表されたもの。
印刷公表未済の場合は、発表機関の論文受理又は掲載予定の証明があるもの。
 - c. 印刷公表する雑誌は、査読制度のある優れた専門学術雑誌（英文雑誌が望ましい）であること。

3) 申請手続き

博士の学位審査を申請する者は、次に掲げる書類の内容について指導教員の承認を得たうえで、電子ファイルを下記 URL にアップロードして提出すること。その後、学位申請のアップロードが完了した旨を、CC に指導教員を入れて、教務学生係宛て (ihogakumu@t.mail.nagoya-u.ac.jp) にメールで連絡すること。

I. 学位申請時の提出書類

提出およびメール連絡期限：当該年度の11月第4金曜日 17時まで【時間厳守】

※提出日が祝日の場合は、第4金曜日の前日の平日

提出先 URL： <https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/pKp8c2f8ywFkn42>

アップロード操作後、ブラウザ上で「アップロード済ファイル：”ファイル名”.pdf」と表示されたことを確認してください。

※期限内にアップロードしたファイルの変更を希望する場合は、教務学生係宛にメールで連絡し、ファイル名の初めに(修正)と記載してください。

提出物：

1. 主論文 (PDF)
2. 副論文 (必要がある場合) (PDF)
3. 参考論文 (必要がある場合) (PDF)
4. 主論文の要旨 (PDF)
5. 論文目録 (WORD)
6. 履歴書 (EXCEL)
7. アクセプト証明書類 (PDF)
8. 博士学位論文の研究公正に係る誓約書 (申請者および指導教員が自署) (PDF)
9. 剽窃チェックソフトによる結果レポート (カラー) (PDF)

II. 書類作成上の注意事項

※提出書類の題目が統一されているか、再度確認し、ファイルをアップロードしてください。
ファイルごとに題目が異なる場合、受理できません。

※また、その他、記載の内容に不備がある場合、受理できませんので、以下をよく確認のうえ、ご提出ください。

1. 主論文(ファイル名:氏名_主論文)

(1)PDFの形式については、附属図書館webサイト上の「博士学位論文登録公開詳細」を参照すること。

<https://nagoya.repo.nii.ac.jp/page/34>

(2)原則として、A4版の用紙(サイズ)を用いること。雑誌への投稿論文や著書と学位論文の内容が同一の場合にも、A4用紙にダブルスペース等で打ち直し、ページ数や本文最初のページなど、博士論文としての体裁を整えることが望ましい。

(3)論文本文の体裁、書式についてはコースごとに定めたものとするが、論文本文には、表題、論文著者1名(学位取得者)が記載されること。頁番号は1頁からふる。

(4)主論文の中には、和文と英文の主論文の要旨のページを必ず設けること。
(英文の要旨のタイトルには、和文も併記すること)

2. 副論文(ファイル名:氏名_副論文)

(1)副論文がある場合には、提出することを原則とする。

(2)副論文とは、主論文の内容と関連し、すでに印刷公表した論文のことをいう。

3. 参考論文(ファイル名:氏名_参考論文)

(1)参考論文とは、本人が公表した論文のうち主論文に含まれないものをいう。

4. 主論文の要旨(ファイル名:氏名_要旨)

(1)主論文の要旨は、所定用紙に和文で2,000～3,000字程度に要約し、
(例えば①緒言、②対象及び方法、③結果、④考察、⑤結語等の順に)A4版横書きで作成すること。

(2)要旨は検討・批判等に堪えうるよう充分推敲と校正を行うこと。

5. 論文目録(ファイル名:氏名_論文目録)

(1)記入例を参考にして記入すること。論文題目が外国語の場合には、和訳を()書きで付記すること。

6. 履歴書(ファイル名：氏名_履歴書)

(1) 記入例を参考にして記入すること。

①学 歴—大学卒業(短期大学あるいは専修学校等)から順を追って記入すること。
(名古屋大学卒業・博士前期課程修了の場合、卒業・修了日は卒業式の日を記入。)

②研究歴—大学院在学中の研究歴については、記入の必要はない。
(ただし、なしの場合は“なし”と記載すること)

③職 歴—現在までの職歴を順に年月日まで記載すること。(大学院在学中のアルバイトについては記入しないこと)

(2) 氏名は、戸籍に記載の氏名どおりに記入すること。旧姓使用を届け出ている場合は、別途教務学生係へ相談すること。

7. 博士学位論文の剽窃チェックについて

(1) 学位申請時に、以下の2点を提出すること。

①博士学位論文の研究公正に係る誓約書 (ファイル名：氏名_誓約書)

②剽窃チェックソフト(iThenticate)による結果レポート
(ファイル名：氏名_剽窃チェック)

(2) 剽窃チェックソフトは教員のみ使用可能であるため、剽窃チェックは指導教員へ依頼すること。

(3) 既に学術誌等に掲載された論文を引用して当該博士学位論文を作成した場合等は、元になる論文についても剽窃チェックを実施し併せて結果レポートを提出すること。
(複数ある場合は、ファイル名の最後に①、②…と番号を追記すること)

(4) 「博士学位論文の研究公正に係る誓約書」は「確認欄(学位審査申請時)」に学位申請者自身がおよび「指導教員確認欄(学位審査申請時)」に指導教員がそれぞれ署名すること。

(5) iThenticateの除外フィルタは使用せず、一致率のパーセント表示がそのままなされている結果レポートを提出すること。

4) 学位審査終了後の提出書類

I. 電子データによる提出

学位審査終了後、論文の誤字、綴りの誤りなどを修正した上で、次に掲げる書類の電子ファイルを下記 URL にアップロードして提出すること。その後、審査終了後の書類のアップロードが完了した旨を CC に指導教員を入れて、教務学生係宛て

(ihogakumu@t.mail.nagoya-u.ac.jp) にメールで連絡すること。

提出およびメール連絡期限： 当該年度の2月第2火曜日17時まで【時間厳守】

提出先 URL： <https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/yJcPeyEwz8jygn>

アップロード操作後、ブラウザ上で「アップロード済ファイル：”ファイル名”.pdf」と表示されたことを確認してください。

※期限内にアップロードしたファイルの変更を希望する場合は、教務学生係宛にメールで連絡し、ファイル名の初めに(修正)と記載してください。

提出物

1. 論文全文の電子データ (PDF) (ファイル名：分野名_氏名)

PDF の形式については、附属図書館 web サイト上の「博士学位論文登録公開詳細」を参照すること。※分野名：「看護」「医用」「病態」「理学」「作業」

<https://nagoya.reponii.ac.jp/page/34>

2. 博士論文のインターネット公表確認書 (別紙6) (PDF)

(ファイル名：氏名_公表確認書)

※学位の種類：「課程」

※学位授与予定日：在籍者「修了式の日」

離席者「学位授与月の末日」※末日が休日の場合はその前の平日。

3. 博士論文の要約の電子データ (PDF) (ファイル名：氏名_要約)

インターネット公表確認書において【全文の公表の保留を希望】または【要約の公表を希望】(全文の公表ができない場合)を選択した場合のみ、博士論文全文のデータと併せて、英文と和文の要約をひとつのファイルに記載し、提出すること。

※博士の学位を授与された者は、1年以内に学位論文を公表しなければならない。また、学位授与後に公表する場合は、名古屋大学学位申請論文と明記すること。ただし、学位授与前に公表したものはこの限りではない。

※博士論文のインターネット公表確認書において、公表の保留を希望した場合は、自動的に公表となる場合を除き、「博士論文のインターネット公表の保留事由に係る届出書 (別紙7)」を事由の消滅等に伴い遅滞なく提出すること。

II. 紙媒体による提出

学位論文審査申請時に PDF 形式で提出した博士学位論文の研究公正に係る誓約書（申請者および指導教員が自署）の印刷原本を教務学生係宛てに提出すること。

提出期限： 当該年度の2月第2火曜日 17時まで【時間厳守】

※提出日が祝日の場合は、第2火曜日の前日の平日

提出先： 教務学生係窓口（郵送等可）

5) 短期修了者および9月修了者、満期退学者の学位申請について

1. 短期修了を目指す学生は、P. 31「博士後期課程短期修了に関する申合せ」を参照のうえ、指導教員および教務学生係へ相談すること。
2. 9月修了を目指す学生は、P. 30の「6. 学位申請時期の特例措置について」を参照のうえ、指導教員および教務学生係へ相談すること。
3. 満期退学者は個別対応するので教務学生係へ相談すること。

6) その他

1. 取得した個人情報については適切に取り扱い、学位審査に係る手続き及び学位取得後の学位情報管理のために使用します。
2. 著作権に関する情報は、以下のアドレスを参考にしてください。
<https://nagoya.repo.nii.ac.jp/page/34>
3. 2013年4月より、ハードカバーの製本論文の提出の必要はなくなりました。

提出物一覧

	提出期限	提出物 (○:全員提出)	備考	参照ページ
学位申請時	3月修了： 11月第四金曜	○主論文	PDF	5, 6,
		副論文	PDF 必要な場合のみ	5, 6
		参考論文		
	9月修了： 4月第四金曜	○主論文の要旨	PDF	5,6,18,19
	短期9月修了： 6月第四金曜	○論文目録	WORD	5,6, 20
	満期退学者： 受理審議月の前月の 第四金曜	○履歴書	EXCEL	5,7, 21,22
		○アクセプト証明書類	PDF	5
		○博士学位論文の研究公正に係る誓約書	PDF 自身および指導教員が自署	5, 7, 23
		○剽窃チェックソフトによる結果レポート		5, 7
学位審査終了後	3月修了： 2月第二火曜	○主論文	PDF	8
	9月修了： 9月第二火曜	○博士論文のインターネット公表確認書（別紙6）	PDF	8, 24,25
	短期9月修了： 9月第二火曜	博士論文の要約の電子データ	PDF 公表を保留した場合のみ	8
	満期退学者： 合否判定月第二火曜	○博士学位論文の研究公正に係る誓約書	印刷原本（1部） 学位申請時の提出済みのものの原本	5, 9, 23
	公表後	博士論文のインターネット公表の保留事由に係る届出書（別紙7）	PDF 公表を保留した場合のみ	7, 26

※提出期限は、いずれの場合も17時までとする。また、提出日が祝日の場合は、前日の平日を提出期限とする。

※提出物の様式は保健学科ホームページからダウンロードすること。

※表紙記入例

＊＊年度学位申請論文
論 文 題 目
(英文の場合は、() 内に和訳)

名古屋大学大学院医学系研究科
総合保健学専攻

(指導：〇〇 〇〇 教授)

※複数の場合は列記しても可

大 幸 花 子

3. 各種様式

大学院博士課程

学修計画書

年 月 日

医学系研究科長 殿

年度入学 (博士 期課程)
総合保健学専攻
コース

学生番号

氏 名

印

私は大学院在学中、指導教員の指導の下に、下記のとおり研究計画及び学修計画を立てましたので、ご承認くださるようお願いいたします。

記

研究題目 (英文の場合は和 訳)	
研究計画<研究動機および目的>	

学 修 計 画・・・受講予定科目と併せて学修計画の要約を記載すること
(年度履修科目及び単位数)

(年度履修科目及び単位数)

指導教員氏名

印

※記入欄が不足する場合は、適宜別紙を追加してください。

※用紙の提出とは別に題目のみをメールしてください。→ ihogakumu@t.mail.nagoya-u.ac.jp

研究計画書

年 月 日

医学系研究科長 殿

年度 入学

総合保健学専攻
コース

学生番号

氏 名

印

私は大学院在学中、指導教員の指導の下に、下記のとおり研究計画を立てましたので、ご承認くださるようお願いいたします。

記

研究題目 (英文の場合は和 訳)	
研究計画	

指導教員氏名

印

※記入欄が不足する場合は、適宜別紙を追加してください。

※用紙の提出とは別に題目のみをメールしてください。→ ihogakumu@t.mail.nagoya-u.ac.jp

学位論文に関する中間報告の概要

1. 提出年月日

年 月 日

2. 氏名及び専攻・コース

氏 名：

専攻・コース： 総合保健学専攻 コース

学生番号：

3. 学年及び後期進（入）学年度

年度進（入）学 DC 年

4. 博士論文（仮）題目

※英文の場合は、表記（大文字、小文字）に注意し、（ ）書きで和訳を付すこと。

5. 博士学位取得予定年度

年度3月（予定）

6. 博士論文に関するこれまでの研究経過（日本語で2,000字程度）

7. 今後の博士論文執筆計画（日本語で2,000字程度）

8. 研究業績一覧（公表された論文，研究ノート，報告書及び学会等での発表）

9. 指導教員氏名・印

「博士論文に関する中間報告の概要」は以上の項目と、順序に従って、A4版の用紙を用いて作成してください。

※用紙の提出とは別に題目のみをメールしてください。→ ihogakumu@t.mail.nagoya-u.ac.jp

学位論文の全体構想及び内容についての報告書

1. 提出年月日

年 月 日

2. 氏名及び専攻・コース

氏 名：

専攻・コース： 総合保健学専攻 コース

学生番号：

3. 学年及び後期進（入）学年度

年度進（入）学 DC 年

4. 博士論文（仮）題目

※英文の場合は、表記（大文字、小文字）に注意し、（ ）書きで和訳を付すこと。

5. 博士学位取得予定年度

年度3月（予定）

6. 博士論文の全体構想及び内容（日本語で4,000字程度）

7. 論文の学会誌等への投稿予定

学会誌等の名称：

投稿論文の題名：

掲載（予定）年月： 年 月

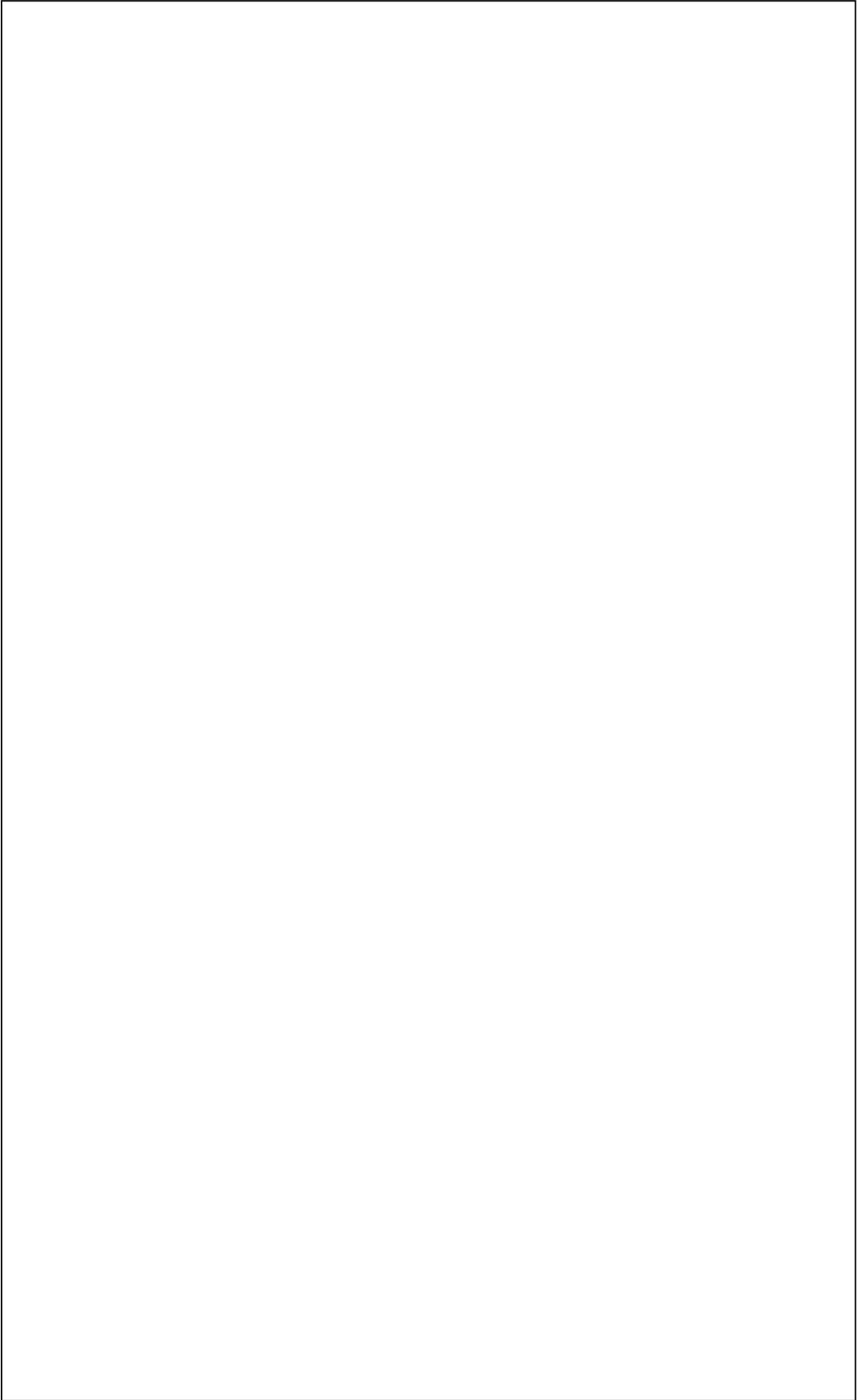
掲載（予定）巻・号：

8. 研究業績一覧（公表された論文，研究ノート，報告書及び学会等での発表）

9. 指導教員氏名・印

「学位論文の全体構想及び内容についての報告書」は以上の項目と、順序に従って、A4版の用紙を用いて作成してください。

※用紙の提出とは別に題目のみをメールしてください。→ ihogakumu@t.mail.nagoya-u.ac.jp



専攻までの記入。※正式名称で記入すること
(コース・分野等の記入は不要)

報告番号※事務記入欄	第 号																																																
氏名	大 幸 花 子																																																
<p>学歴（大学卒業以降、すべて記入すること）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">****年3月**日</td> <td style="width: 30%;">名古屋大学医学部保健学科〇〇〇専攻卒業</td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>****年4月 1日</td> <td>名古屋大学大学院医学系研究科博士前期課程〇〇〇学専攻入学</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>****年3月**日</td> <td style="text-align: center;">同 上</td> <td style="text-align: center;">修了</td> <td></td> </tr> <tr> <td>****年4月 1日</td> <td>名古屋大学大学院医学系研究科博士後期課程〇〇〇学専攻進学</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>****年3月**日</td> <td style="text-align: center;">同 上</td> <td style="text-align: center;">修了</td> <td></td> </tr> <tr> <td>****年3月31日</td> <td style="text-align: center;">同 上</td> <td style="text-align: center;">満期退学</td> <td></td> </tr> </table> <p>※名古屋大学大学院医学系研究科博士前期課程以外から名古屋大学大学院医学系研究科博士後期課程へ入学した場合は、「進学」ではなく「入学」とすること ※名古屋大学を卒業・修了(見込み)の日付は、<u>卒業・修了式の日</u>を記載すること。</p> <p>※休学歴がある場合は休学期間も記入すること（学歴の中に下記内容を入れ込むこと）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">****年4月 1日</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">休</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">学</td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>****年3月31日</td> <td style="text-align: center;">復</td> <td style="text-align: center;">学</td> <td></td> </tr> </table> <p>研究歴</p> <p>なしの場合は“なし”と記載すること ※名古屋大学(大学院)の非正規生(研究生)の期間があれば必ず記載してください。 例) ****年m月d日 名古屋大学医学部 研究生 入学 ****年m月d日 名古屋大学医学部 研究生 終了 ※研究歴に記載される場合は、研究期間、研究機関、研究内容がわかるように記入すること。</p> <p>職歴 ※大学院在学中のアルバイトについては、記入しないこと</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">****年4月 1日</td> <td style="width: 30%;">〇〇病院勤務</td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>****年8月31日</td> <td>〇〇病院退職</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>****年9月 1日</td> <td>〇〇病院勤務</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>****年4月 1日</td> <td>〇〇病院に異動</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">現在に至る</p>		****年3月**日	名古屋大学医学部保健学科〇〇〇専攻卒業			****年4月 1日	名古屋大学大学院医学系研究科博士前期課程〇〇〇学専攻入学			****年3月**日	同 上	修了		****年4月 1日	名古屋大学大学院医学系研究科博士後期課程〇〇〇学専攻進学			****年3月**日	同 上	修了		****年3月31日	同 上	満期退学		****年4月 1日	休	学		****年3月31日	復	学		****年4月 1日	〇〇病院勤務			****年8月31日	〇〇病院退職			****年9月 1日	〇〇病院勤務			****年4月 1日	〇〇病院に異動		
****年3月**日	名古屋大学医学部保健学科〇〇〇専攻卒業																																																
****年4月 1日	名古屋大学大学院医学系研究科博士前期課程〇〇〇学専攻入学																																																
****年3月**日	同 上	修了																																															
****年4月 1日	名古屋大学大学院医学系研究科博士後期課程〇〇〇学専攻進学																																																
****年3月**日	同 上	修了																																															
****年3月31日	同 上	満期退学																																															
****年4月 1日	休	学																																															
****年3月31日	復	学																																															
****年4月 1日	〇〇病院勤務																																																
****年8月31日	〇〇病院退職																																																
****年9月 1日	〇〇病院勤務																																																
****年4月 1日	〇〇病院に異動																																																

※年月日は各自で調べ、西暦で記入すること。

博士学位論文の研究公正に係る誓約書

医学系研究科長 殿

私が執筆し、提出した下記の博士学位論文において、不正行為（捏造、改ざん、盗用（剽窃を含む））は行っていないことを誓約します。

なお、不正行為を行ったと判断された場合には、学位取得後であっても学位授与の取消しとなる場合があることを認識しています。

記

論文題目：

年 月 日

学位申請者（自署）：_____

指導教員確認欄

上記の者が提出した博士学位論文について、不正行為を示唆する所見は認められませんでした。

年 月 日

指導教員（自署）：_____

※本確認欄は、指導教員又は研究科において定めた教員が記載してください。

※内容を確認し、確認欄にチェック を付したうえ、ご署名ください。

博士論文のインターネット公表確認書

年 月 日

名古屋大学大学院医学系研究科長 殿

学位の区分	例)課程	研究科・専攻	医学系研究科・総合保健学専攻
学位授与 予 定 日	※在籍生は修了式の日	ふりがな 氏 名	

【全文の公表が可能】

提出した博士論文（全文）について、公表することに問題はありません。

※全文の公表にあたり、出版社等から、例えば論文の体裁を変更する等の条件の指定がある場合は、その内容が分かる書類を併せて提出してください。

【全文の公表の保留を希望】 ※ 保留期間中は要約を公表

提出した博士論文（全文）について、下記事由のため、インターネット公表の保留を希望し、保留期間中は要約を公表します。なお、下記事由の消滅等に伴う所定の届出書（様式：別紙7）については、自動的に公表となる場合を除き必ず提出いたします。

項 目	事 由	様式：別紙7の 提出時期
<input type="checkbox"/> 図書出版	<input type="checkbox"/> 出版済み。出版社の著作権ポリシーを確認した結果、（ 年 月 日）まで公表することができない。	提出不要・自動的に公表
	<input type="checkbox"/> 出版予定（ 年 月 月予定）で、出版社の著作権ポリシーを確認した結果、（出版後・ 年 月 日）まで公表することができない。	公表可能日（直後）
	<input type="checkbox"/> 出版予定（平成 年 月 月予定）で、出版社の著作権ポリシーを確認することができない。	出版予定日又は出版日（直後）
<input type="checkbox"/> 学術ジャーナル等への掲載	<input type="checkbox"/> 掲載済み。出版社等の著作権ポリシーを確認した結果、（ 年 月 日）まで公表することができない。	提出不要・自動的に公表
	<input type="checkbox"/> 掲載予定（ 年 月 月予定）で、出版社等の著作権ポリシーを確認した結果、（掲載後・ 年 月 日）まで公表することができない。	公表可能日（直後）
	<input type="checkbox"/> 掲載予定（ 年 月 月予定）で、出版社等の著作権ポリシーを確認することができない。	掲載予定日又は掲載日（直後）
<input type="checkbox"/> 特許・実用新案出願	<input type="checkbox"/> 特許出願予定又は審査中（出願公開前） 出願（予定）： 年 月	出願公開日（直後）
	<input type="checkbox"/> 実用新案出願予定又は審査中 出願（予定）： 年 月	登録日（直後）
<input type="checkbox"/> その他	（具体的な事由を記載）	事由の消滅日

【要約の公表を希望】（全文の公表ができない場合）

提出した博士論文（全文）について、下記事由のため、インターネット公表はできませんので、要約での公表を希望します。

（具体的な事由を記載してください）

（記入例）・ 図書出版や学術ジャーナル等への掲載において、出版社等の著作権ポリシーを確認した結果、全文での公表ができない

。（出版社等の著作権ポリシーを明記した書類の添付が必要）

- ・ 博士論文が立体形状による表現等を含むためインターネットでの公表ができない。
- ・ 秘匿すべき情報を含む又は公表することで重大な支障をきたす恐れがあるため。

※作成にあたっては、裏面の「作成の際の注意事項」を参照すること。

作成の際の注意事項

博士学位授与後に論文全体をインターネット利用により公表することについて、表面の選択肢（【全文の公表が可能】，【全文の公表の保留を希望】，【要約の公表を希望】（全文の公表ができない場合））のいずれかの□にレ点チェックの上、博士学位授与申請に併せて提出してください。

<留意事項>

- ① 審査を行った研究科がやむを得ない事由があると認めた場合は、博士論文の全文に代えてその内容を要約したものを名古屋大学学術機関リポジトリの利用により公表することになります。
なお、出版刊行や学術ジャーナル等への掲載により公表に制約がかかる場合にあつては、公表が制約される時期が経過後に博士論文の全文を公表することになります。
- ② 博士論文の全文をインターネットで公表しない場合、又は、一定の期間を非公開とする場合であっても閲覧に供する必要があります。本学では、博士論文の電子データをもって本学附属図書館窓口にて閲覧に供することになります。
また、国立国会図書館でも利用に供されます。
- ③ 学術ジャーナルへの掲載又は出版刊行等のため、インターネットでの公表に際し著作権処理が必要になる場合は、各自、適切に処理してください。

博士論文のインターネット公表の保留事由に係る届出書

年 月 日

名古屋大学大学院医学系研究科長 殿

学位の区分	課程・論文	学位の種類	博士 ()
学位授与 予 定 日	年 月 日	学位記番号	
ふりがな 氏 名	(印) (自署の場合は不要)		
現 在 の 連 絡 先	住所：〒 電話： Email：		

私が提出した博士論文（全文）について、インターネット公表の保留事項については、以下のとおりとなりましたので、届け出します。

※ 以下の□にチェック及び必要箇所に記入してください。

□【図書出版, 学術ジャーナル等掲載】

項 目	報告内容	出版社等の著作権ポリシーの確認結果
□図書出版	□出版しなかった	(全文の公表となります)
	□出版済み	□公表が可であることを確認 □公表が不可であることを確認 (※)
□学術ジャーナル等への掲載	□投稿しなかった □掲載されなかった	(全文の公表となります)
	□掲載済み	□公表が可であることを確認 □公表が不可であることを確認 (※)

(※) 「公表が不可であることを確認」の場合、根拠となる書類を添付してください。

□【特許・実用新案出願】

報告内容	インターネット公表方法について
□特許を出願しなかった □出願公開済み (年 月)	(全文の公表となります)
□実用新案を出願しなかった □審査結果確定済み (年 月)	

□【その他の事由の消滅】

報告内容	インターネット公表方法について
(具体的な事由を記載してください)	(全文の公表となります)

4. 関係規則等

名古屋大学学位規程

https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110000284.htm

名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻学位（課程博士）審査内規

制 定 2004年 9月15日

最終改正 2024年10月16日

（目的）

第1条 名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻看護学コース・医療技術学コース・リハビリテーション療法学コース博士後期課程の修了については、名古屋大学大学院通則第32条及び名古屋大学学位規程に定めるもののほか、この内規の定めるところによる。

（申請資格）

第2条 課程博士の学位審査を申請することができる者は、次の各号の一に該当するものとする。

一 後期課程3年次の在学者で、必要な研究指導を受け、所定の単位を修得する見込みの者。

二 優れた業績を上げた者で、前期課程又は修士課程に在学期間を含み大学院に3年以上在学する予定で、後期課程における必要な研究指導を受け、所定の単位を修得する見込みの者。

三 上記二にかかわらず、個別審査により入学資格が認められ後期課程に入学し、優れた業績を上げた者で、1年以上在学する予定で、後期課程における必要な研究指導を受け、所定の単位を修得する見込みの者。

四 後期課程満了者で、後期課程に入学後又は進学後6年（休学期間を除く。）以内の者。

（申請条件）

第3条

1 原則として本研究科が行う大学院研究発表会において、提出する論文の発表を行い、かつ予備審査を終了した者。

2 本研究科が定めた期日までに論文提出が可能な者。

3 提出する学位論文は、次の各号に該当するもの。

(1) 主論文は、本研究科以外の大学院に学位論文として提出したことがないもの。

(2) 主論文は、その主たる部分が筆頭著者として印刷公表されたもの。印刷公表未

済の場合は、発表機関の論文受理又は掲載予定の証明があるもの。

(3) 印刷公表する雑誌は、査読制度のある優れた専門学術雑誌（英文雑誌が望ましい）であること。

（申請手続き）

第4条 博士の学位審査を申請する者は、次の各号に掲げる書類を研究科長が定める期日までに提出しなければならない。

- 一 主論文
- 二 副論文（必要がある場合）
- 三 参考論文（必要がある場合）
- 四 主論文の要旨
- 五 論文目録
- 六 履歴書

（学位審査委員会）

第5条 保健学専門委員会は、前条の申請を受理するか否かを審議し、申請を受理した場合は、当該申請者ごとに学位審査委員会（以下「審査委員会」という。）を組織する。

2 審査委員会の構成は別に定める。

（学位審査及び方法）

第6条 審査委員会は、博士の学位審査のため、論文の審査及び学位試験を行う。

2 博士の学位審査は、申請を受理した日から1年以内に終了するものとする。

ただし、特別な事情がある場合には、保健学専門委員会の議を経て審査期間を延長することができる。

3 博士学位試験は、論文の内容及びこれに関連ある専門分野の学識及び研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力について審査するものとする。

4 博士学位審査の方法は、当該コースが定める。

（審査結果の報告及び合否の決定）

第7条 審査委員会は、論文審査の結果の要旨及び博士学位試験の結果を書面により、保健学専門委員会に報告しなければならない。

2 保健学専門委員会は、前項の報告に基づき、保健学専門委員会を構成する教員（海外旅行中又は休職中の者を除く）の3分の2以上の出席する保健学専門委員会において出席者の3分の2以上の賛成を得た者を合格とする。

3 合否の決定がなされた後、研究科長は、指導教員を通じて審査結果を遅延なく当該申請者に通知しなければならない。

（不合格者等の取り扱い）

第8条 保健学専門委員会の議により学位審査に関して不合格と決定された者は、指導教員の指導を受けた後再度論文を提出することができる。

2 後期課程に3年以上在学し、必要な研究指導を受け、所定の単位を修得した者に

対しては課程満了を認定することができる。

(雑記)

第9条 名古屋大学学位規程及びこの内規に定めるもののほか、学位審査等に関して必要な事項は保健学専門委員会の議を経て別に定める。

附 則

この内規は、2004年 9月15日から施行する。

附 則

この内規は、2014年 4月16日から施行する。

附 則

この内規は、2015年 4月 1日から施行する。

附 則

この内規は、2020年 4月 1日から施行する。ただし、2019年度以前に入学した者については、なお従前の例による。

附 則

この内規は、2024年11月 1日から施行する。

名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻看護学コース・医療技術学コース・リハビリテーション療法学コースの学位申請に関する申合せ

1. 大学院研究発表会（予備審査）について

学位を取得しようとする場合、所定の期日までに学位論文の全体構想及び内容を研究科長に提出し、保健学専門委員会において、予備審査委員会の審査を受けなければならない。

なお、満期退学者が学位論文の全体構想及び内容を提出する場合は、随時受け付けるものとする。

予備審査委員会は、大学院研究発表会を開催し、併せて予備審査を行う。

また、予備審査委員会は、大学院研究発表会（予備審査）の結果について、保健学専門委員会に報告しなければならない。

予備審査委員会は、大幸地区における大学院教育を担当している者（講師以上）3名以上で構成する。予備審査委員及び主査の選出はコースが行う。予備審査委員には、指導教員を含むものとするが、指導教員は主査とならない。

この大学院研究発表会（予備審査）の有効期間は、大学院研究発表会（予備審査）終了後、翌月から起算して24ヶ月とする。

2. 学位論文題目の変更について

学位論文の題目を変更する場合は、大学院研究発表会（予備審査）の結果報告時までに指導教員と相談の上、保健学専門委員会で承認を受けなければならない。

承認後、さらに学位論文題目の修正の必要が生じた場合は、学位論文受理審議時又は学位審査結果の報告時に保健学専門委員会において修正の承認を受けるものとする。

3. 学位論文

原則として、A4版、電子データ（PDF形式）を提出しなければならない。体裁については、別に定める。

なお、学位論文は、博士論文インターネット公表確認書とともに合否審査の1週間前までに提出するものとする。

4. 学位審査委員会

学位審査委員会は、教授（保健学専門委員会構成員）2名以上を含む3名以上で構成する。審査委員及び主査の選出はコースが行い、受理審査の前に教務学生係に学位審査委員候補者を届出ることとする。学位審査委員には指導教員を含むものとするが、指導教員は主査とならず、かつ投票権をもたないものとする。

主査は、保健学専門委員会構成員から選出するものとする。

指導教員が准教授の場合にも、これと同様とする。

5. 学位審査結果の報告

学位審査委員会主査は、保健学専門委員会で学位審査の結果を報告する。

6. 学位申請時期の特例措置について

半期（6月以下）休学した者が、最終学年で学位を取得しようとする場合及び在学年限を超えて在学している者が学位申請をしようとする場合には、下記の時期に申請できるものとする。

① 学位論文の全体構想及び内容

12月の所定の期日までに学位論文の全体構想及び内容を研究科長に提出し、予備審査委員会の審査を受けなければならない。

ただし、在学年限を超えて在学している者で、既に予備審査の結果が出ている者は、有効期間内であれば再提出は不要とする。

② 予備審査委員会の審査の結果、学位論文の提出を認められた者は、5月第1週の金曜日までに申請書類を揃えて教務学生係へ提出する。

ただし、申請資格、申請条件については、通常の時期に申請する場合と同様とする。

③ その他

休学した者が、研究計画書の未提出の場合及び中間報告の結果が未承認の場合は、復学後速やかに実施の上、保健学専門委員会にて承認を得る。

この申合せは、2006年11月15日から実施する。

この申合せは、2010年1月1日から実施する。

この申合せは、2012年4月1日から実施する。

この申合せは、2013年9月18日から実施し、2013年4月1日から適用する。

この申合せは、2015年4月1日から実施する。

この申合せは、2018年7月18日から実施する。

この申合せは、2020年4月1日から実施する。ただし、2019年度以前に入学した者については、なお従前の例による。

この申合せは、2024年11月1日から実施する。

博士後期課程短期修了に関する申合せ

(1) 申請資格

優れた研究業績を上げた者で前期課程又は修士課程の在学期間を含み大学院に3年以上在学し、所定の授業科目を履修して、修了時まで8単位以上を修得する見込みがあり、かつ必要な研究指導を受けた者。

(2) 申請条件

短期修了の審査を受けるためには、短期修了に必要な書類を提出し、審査に合格した者で、次の各号に該当するもの。

ア. 大学院在学中の成績が特に優秀な者。

イ. 本研究科が行う大学院研究発表会において提出する論文の発表を行い、かつ予備審査を終了した者。

ウ. 本研究科が定めた期日までに論文提出が可能な者。

エ. 提出する学位論文は、次の各号に該当するもの。

① 主論文は、本研究科以外へ学位論文として提出したことがないもの

② 主論文は、その主たる部分が筆頭著者として印刷公表されたもの。印刷公表未済の場合は、発表機関の論文受理又は掲載予定の証明があるもの。

③ 印刷公表する雑誌は、査読制度のある専門学術雑誌（英文が望ましい）であること。

(3) 短期修了による資格審査願出

指導教員及びコース主任の承認を得た上で、書面をもって研究科長に資格審査を願出しなければならない。

研究科長は、大学院入試・学位授与委員会にて短期修了の資格審査をし、審査の結果有資格者と認めた場合には、課程博士審査内規第5条による学位審査を行うことを認めるものとする。

(4) 短期修了に必要な書類

ア. 資格審査願

イ. 研究業績調書(様式及び枚数は随意)

次の事項をA4版用紙に記載したもの

① 論文・・・著者名、題名、掲載誌、巻、号、ページ、発行年を明記すること。各論文の後にインパクトファクターを付記すること。

② 著書・・・著者名、書名、出版社、発行年を明記すること。

③ 学会等発表・・・報告者名、演題名、学会名、場所、年度を明記すること。

ウ. 大学院成績証明書(前期課程又は修士課程及び後期課程)

付 記

この申合せは、2004年9月15日から実施する。

この申合せは、2012年4月1日から実施する。

この申合せは、2014年7月16日から実施する。

この申合せは、2019年2月20日から実施する。

この申合せは、2020年4月1日から実施する。ただし、2019年度以前に入学した者については、なお従前の例による。